

令和5年度 緑の少年団指導者研修交流会お知らせ（開催要領）

緑の少年団指導者の研修交流会を、次の要領で実施します。

1. 研修講習会の開催目的：

- ①緑の少年団指導者（事務局担当者）の交流と情報交換
- ②緑の少年団活動指導者の為の実務研修

2. 参加対象者

日本国内に居住する、次の者：

- ア）緑の少年団指導者、少年団育成会の関係者
- イ）児童生徒の野外活動を担当している学校教諭、
- ウ）児童生徒の野外活動プログラムを実施している NPO 等の職員
- エ）緑の少年団都道府県連盟及び都道府県緑化推進委員会の実務担当者
- オ）都道府県の緑化部局担当者緑の少年団都道府県連盟、都道府県緑化推進委員会

3. 研修講習会の開催概要

- ①令和5年12月13日～令和6年1月25日までの間、全6回（平日4回、土日2回）
プログラムはいずれも1日開催（研修1.5時間x2コマ+交流会2時間）
- ②研修参加費は無料ですが、研修会場までの往復交通費、前泊・後泊希望者の宿泊は自己負担をお願いします。また、研修当日の昼食はご持参ください。
- ③講義の主題とするテーマは「森林環境教育」もしくは「子どもたちの育ちの状況」として、どちらも少年団活動の推進のヒントを提供します。また、各会場ともに地域の状況などを知る実務家を招き、地域の問題に特化した講義もしくはオリジナルな体験活動の時間を設定します。
- ④各回とも、講師及び全国緑の少年団連盟担当者との対面での意見交換会を実施します。緑の少年団活動を展開していく上で必須となる、青少年活動を支援する施策や森林環境教育のトピックスについても情報提供します。

4. 研修スケジュール（基本パターン）

◆会場、天候などにより変更となる場合もありますので、ご了承下さい。

時間	内容
10:30	受付開始
11:00	開会式/主催者挨拶/オリエンテーション/研修目的・テーマの共有
11:05	研修 1：（体験プログラム）
12:30	昼食（各自持参）
13:15	研修 2：（講義）
14:45	休憩
15:00	グループディスカッション：参加者の皆様の関心事に基づきグループワークをおこないます。 ※日頃の少年団活動について、ご自身が紹介できる資料があればご持参ください。
16:30	まとめ
16:45	閉会

※1 雨具と昼食をお忘れなく。

※2 日頃の少年団活動について、ご自身が紹介できる資料があれば是非ご持参ください。

5. 参加希望の申込みについて

①参加者の所在地域と参加者会場の縛りは設けませんので、興味のあるコンテンツまたは参加可能な日程を選んでお申し込みください。

②開場規模の都合で、広島、京都、北九州については定員 20 名を上限とさせていただきます。

③京都、福岡、静岡については、開催会場の宿泊施設を利用して、前泊・後泊が可能です。

④参加申込フォーム

参加申し込みは次の URL からお願いします。

第1次受付期間：令和5年11月20日(月)～12月6日(水)まで

第2次受付期間：令和5年12月7日(木)～12月12日(火)まで

※定員に満たない場合のみ、第2次受付期間を用意します。

令和5年度 緑の少年団 指導者研修交流会 参加申込みフォーム (google.com)
https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSdjj9fNdI0Rb6NnCjpj1eBJ0jbsFwG0vhJYe3AJKqCf_RMGLA/viewform



6. 会場日程について

1) 中四国ブロック

期日：12月13日(水)

会場：広島大学東千田キャンパス 地域連携フロア SENDA LAB (広島県広島市)

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/iagcc/ccc/sendalab>

交通：広島駅からバス(新幹線口バス乗り場1番乗り場)～約16分「日赤病院前」下車。

または、広島駅からバス(広島駅南口Bホーム7番乗り場)～約12分「日赤病院前」下車。

2) 近畿ブロック(前泊・後泊可能)

期日：12月17日(日)

会場：天橋立ユースホステル(京都府宮津市)

<https://yh-amanohashidate.com/>

交通：京都丹後鉄道天橋立駅下車、フェリー12分一の宮で下船。

または丹海バス伊根方面行25分、元伊勢籠神社(もといせこのじんじゃ)下車。
徒歩10分。

3) 東北・北海道ブロック

期日：令和6年1月14日(日)

会場：名取トレイルセンター(宮城県名取市)

<https://www.mct-natori-tc.jp/>

交通：JR 名取駅から20分(閑上線：終点「名取トレイルセンター」下車)、美田園駅から

15分(東部閑上循環線：「震災メモリアル公園」下車)。

または、車でお越しの場合、仙台東部道路：名取ICから約5分、仙台空港から約20分。

4) 九州ブロック (後泊可能)

期日：令和6年1月19日(金)

会場：もじ少年自然の家(福岡県北九州市)

<https://www.moji-syounen.com/outline/#staff>

交通：車でお越しの場合、九州自動車道「門司IC」から「北九州市立もじ少年自…」まで2.5km。

または、JR 小倉駅から鹿児島本線 各停 門司港行 門司港駅下車、門司港駅前一喜多久「喜多久バス停」から「北九州市立もじ少年自…」まで徒歩6分。

※電車を利用される方には施設最寄駅からのアクセスについて別途ご案内いたします。

5) 東海ブロック (前泊可能)

期日：令和6年1月22日(月)

会場：国立中央青少年交流の家(静岡県御殿場市)

<https://fujinosato.niye.go.jp/>

交通：JR 御殿場駅から富士急行路線バス「青少年交流の家行き」約20分。

または、車でお越しの場合、東名高速道路「御殿場I.C.」から一般道約20分。

6) 北陸ブロック

期日：令和6年1月25日(木)

会場：木場潟東園地及び近隣の研修施設(石川県小松市)

<https://kibagata-eastpark.com/>

交通：JR 小松駅から小松コミュニティバスで約20～40分。

または、JR 粟津駅から小松コミュニティバスで約10分。

車でお越しの場合、国道8号線(上り)蓮台寺ICから約5分、(下り)木場ICから約5分。

7. 各日程の講義内容

1) 中四国ブロック 12月13日(水) 広島

研修1: 講義「子どもたちの育ちの状況」

講師/青木康太朗: 國學院大學 准教授@東京

研修2: 体験「苔玉づくりを活用したエンタテインメント×エコ・エデュケーション」
官民協力した場づくり「SATOMACHI プロジェクト・しぜんとひろしま」の
紹介

現地指導者/和田徳之: 株式会社和大地代表取締役

2) 近畿ブロック 12月17日(日) 京都

研修1: 講義「子どもたちの育ちの状況」

講師/青木康太朗: 國學院大學 准教授@東京

研修2: 講義「関西地方の民間自然体験活動の状況」

講師・現地指導者/砂山真一@一般財団法人 Positive Earth Nature's School 代表
理事 予定

3) 東北・北海道ブロック 令和6年1月14日(日) 宮城

研修1: 講義「森林環境教育」

講師/増田直広: 鶴見大学短期大学部教員。キープ協会インタープリター。都
留文科大・専修大非常勤講師。立教大 ESD 研究所客員研究員

研修2: 講義「東北エリアの自然体験活動の状況とくりこま自然学校の活動事例紹介
など」

講師・現地指導者/塚原俊也@くりこま高原自然学校/OWLS outdoor works &
lifestyle 代表

4) 九州ブロック 令和6年1月19日(金) 北九州

研修1: 講義「子どもたちの育ちの状況」

講師/青木康太朗: 國學院大學 准教授@東京

研修2: 講義「放置竹林の整備や啓発活動」について

講師・現地指導者/安枝裕司: 北九州市立響灘ビオトープ 館長

5) 東海ブロック 令和6年1月22日(月) 静岡

研修1：講義「森林環境教育」

講師/増田直広：鶴見大学短期大学部教員。キープ協会インタープリター。都留文科大・専修大非常勤講師。立教大 ESD 研究所客員研究員

研修2：※調整中

講師・現地指導者/高瀬宏樹：国立中央青少年交流の家・事業主任 予定

6) 北陸ブロック 令和6年1月25日(木) 石川

研修1：講義「子どもたちの育ちの状況」

講師/青木康太朗：國學院大學 准教授@東京

研修2：※調整中

講師・現地指導者/小川将友：環境教育事務所ネイチャーブランドプランニング 代表。国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学研究員

8. 主な講義テーマと講師のプロフィール

1) 森林環境教育論

増田 直広（ますだ なおひろ）／鶴見大学短期大学部保育科講師、公益財団法人キープ協会・主席研究員

略歴

- ・埼玉県生まれ、公益財団法人キープ協会 環境教育事業部において環境教育指導者養成事業、自然体験などを実践する傍ら、環境省、文部科学省、林野庁、自治体、企業などでの環境教育にかかわる
- ・山梨県立八ヶ岳自然ふれあいセンター館長兼務、山梨県地球温暖化防止活動推進センターセンター長兼務
- ・専門は環境教育、生涯学習としての環境教育、地域資源を活用した環境教育システム、インタープリテーション環境教育事業
- ・現在は鶴見大学短期大学部保育科講師、都留文科大学非常勤講師、日本大学非常勤講師、立教大学 ESD 研究所客員研究員として大学教育にかかわる
- ・一般社団法人日本インタープリテーション協会理事、一般社団法人日本環境教育学会理事、(特非) 自然体験活動推進協議会理事を務める

2) 子どもたちの育ちの状況～子どもの体験ってどうなってるの？～

「子どもが大変っていうけど、いま、子供の体験ってどうなっているの？」

「キャンプや遊びは、本当に子どもにとって必要なの？」

「体験が学びってどういうこと？」「子どもの体験にはどのような環境が必要なの？」

の？」

青木 康太朗（あおきこうたろう）／國學院大學人間開発学部 准教授

大阪体育大学大学院修了。国立青少年教育振興機構の職員として自然体験活動の指導や調査研究、指導者養成などに従事し、2019 年から現職。専門は青少年教育や野外教育等。現在、文部科学省生涯学習調査官、子ども家庭審議会基本政策部会委員等を兼務。

9. 研修参加当日までのおおまかな流れ

1) 参加希望者は、申込みフォームに必要事項を記入し送信する

2) 主催者事務局（委託：NPO 法人国際自然大学校）から参加者に連絡がある

※前泊・後泊可能な研修については、参加者に希望があれば主催者に連絡してください

3) 研修動画で予習希望の者は、主催者に連絡の上 URL 送信を受け、視聴する

※リスクマネジメント講習は研修動画の視聴で行います。希望者には修了証を発行しますので、主催者に申し込みの上、効果測定を受けてください

4) 研修当日

当日の連絡は、各会場では受け付けておりません

緊急連絡先については、参加者に別途ご連絡いたします

以上

◆本事業に関するお問い合わせ先：

主催者：公益社団法人国土緑化推進機構 担当 大松、中井

電話 03-3262-8451（代）／ E-mail shonendan@green.or.jp

主催者事務局：NPO 法人国際自然大学校 担当 小野田

電話 03-3489-6582（代）／ E-mail info@nots.gr.jp